

水と知り合う

摂津市立第五中学校 三年 仙石 葵衣

「水を大切にしてください」それは日本人であれば一度は聞いたことのあるセリフでしょう。水を出しっぱなしにすることはいけないということは、日本に住む人の当たり前になっており、日本のほとんどの地域では蛇口から綺麗な水が出てきます。なので、社会の授業で今世界では水を巡った紛争が起こっているということを知った時、私はとても衝撃を受けました。また、その紛争の原因に大きく関わっているのが世界人口の増加や経済発達、生活水準の向上による水不足と水質汚染といった、私たちの生活に関係しているものばかりで、危機感を覚えました。そこで、これらを解決するために私たちにできることは何か、考えてみました。

まず、水不足を改善するためには、仮想水を減らす事が大切だと考えます。なぜなら、仮想水は外国の水資源を消費するので、外国の水不足を進行させたり、枯渇を早めてしまう可能性があるからです。仮想水を減らすためには、食料自給率を高めたり地産地消を進めて、外国からの食料の輸入を最小限に抑えることが必要です。私は、小学校3年生の夏休み、摂津市の名産である鳥飼ナスを食べることのできる大ききまで育て、おじさんにほめてもらい、とてもうれしかったことを覚えています。このように、地産地消とは仮想水を抑えるだけでなく地域とのつながりや、自分の手で育てたものを食べるよろこびを感じることでできる取り組みです。なので、身近なところからでもみんなが取り組むことが水不足の改善には不可欠なのです。

次に大切だと考えるのは、水質汚染を深刻化させないという事だと考えます。なぜなら水は全ての生物と共有しているものなので、水が汚染してしまうとその影響は人だけでなく全生物に及んでしまうからです。現在日本の水質汚染の主な原因は生活排水によるものなので、日々の生活が川や海を汚すことに繋がっていないか意識する必要があると考えます。私の所属しているソフトテニス部では練習後くつがとても汚れてしまうので、学期末ごとに洗っています。その時に、ある程度外で汚れを落してから洗ったり、自然にも人にも優しい植物由来の成分で作られた洗剤を使うなど、なるべく水を汚さないという一人一人の意識が川や海へ流れ込む水の汚れを減らすことに繋がると考えます。また、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」のターゲットの一つでもある、海洋ゴミや海洋プラスチックによる海洋汚染も世界が抱える課題の一つです。私は先日、ゴミ捨て場を漁っていたカラスが学校の前にある川にビニール袋やハンガーを捨てているところや風が強い日、風によってゴミが飛ばされているところを見ました。このことから一人一人がゴミの出し方を意識することが必要であると考えました。例えばゴミを荒らされないよう、しっかりとネットをかけたり、道にゴミが落ちていない環境を作ることで、動物や風によってゴミが川や

海にたどり着いてしまうのを防ぐことができると考えました。

なにより大切なのは水について知ることです。水の惑星とも呼ばれている地球ですが、実際に生活に利用できる水資源は地球全体の約 0.1% にすぎないといった水資源の有限性を知ることによって水の貴重さや水の重要性の理解を深めることができると考えます。また、世界の海洋プラスチックゴミによる水質汚染の現状や、プラスチック削減に向けてどのような取り組みがあるのかを知ることから始めてみてはいかがでしょうか。

この作文を通して、世界の水の現状を知り水のありがたみを改めて気付く事が出来ました。また、私たち中学生でも出来る事が沢山あり、それを実行する事が大切なのだと分かりました。なので、一つ一つの課題と向き合い出来ることから始めてみようと思います。